

## 令和7年度 第2回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月4日（金）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 会議室
- 3 出席委員 熊谷 三郎、鈴木 澄子、白井 一光、齋藤 千朝、田原 さやか
- 4 欠席委員 鈴木 崇之
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 伊藤 公美子（校長）、定盛 俊孝（教頭）、平野 暁子（CS担当）  
守屋 香里（北斗学年主任）、梅林 智実（1年学年主任）  
大谷 秀（2年学年主任）、金原 進（3年学年主任）  
藤原 淳史（4年学年主任）、松本 景佑（5年学年主任代理）  
嶋川 吾一（6年学年主任）、古橋 佳代（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 16人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代

### 9 議長の選出

司会者の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は鈴木澄子委員が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 1学期の教育活動について
- (2) 教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談
- (3) 今後のPTA活動の方向性について

### 11 会議記録

司会者より委員総数6人のうち5人出席（1名欠席）があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 1学期の教育活動について

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学校のニーズを聞き、保護者や地域住民への働き掛けをするにはどうしたらよいか。この場を話し合いの場にして欲しい。みんなでできることは実践していく方向で検討していきたい。(熊谷委員)
- ・今の学校給食について知ってもらいたい。教育DXが進められているが、子供たちには本物にも出会わせたいと考え、教員もその主旨の研修を取り入れる予定である。(校長)
- ・皆様のお力添えに感謝するとともに、これからも子供たちのために協力していただきたい。(CS担当)
- ・学校へ名札をつけて訪問することで、子供たちに名前を覚えてもらい、良い関係性が築けているように感じる。(鈴木澄子委員)
- ・1学期においては学校への支援を活発にさせていただき、良い流れができています。2学期も引き続き学校支援CDと連絡を取り合って意思疎通を図っていきたい。(教頭)

## (2) 教職員(学年主任)と学校運営協議会委員との懇談

議長の指示により、教職員から学年経営案の説明および要望が発表され、以下の発言があった。

- ・一日のスタートを気持ちよく切れるように朝運動として、ラジオ体操を取り入れている。学校生活では身近な人・ものに関わりながら、自立した生活を身に付けさせたい。(北斗学年主任)
- ・今年度は1年生が入学後、落ち着いて学校生活を送ることができるように、スタートカリキュラムを取り入れた。学校応援団の支援として校外学習引率、リース作り、昔の遊び補助をお願いしたい。(1年学年主任)
- ・1年生や地域の人などいろいろな人と関わる経験を多くさせたい。学校応援団には校外学習引率、おもちゃ作りの補助をお願いしたい。(2年学年主任)
- ・南校舎の最高学年として、1・2年生の模範になることを目指している。総合的な学習では北浜小の歴史や地域のことを勉強するので、今年度も講師をお願いしたい。(3年学年主任)
- ・家庭学習では段階的にタブレットとプリントを半分ずつにしている。子供たちが目指したい大人に出会える機会を与えたい。総合的な学習では、ユニバーサルデザインを勉強している。いろいろな人との関わり方を学ばせたい。(4年学年主任)
- ・高学年のサブリーダーとして、また、地域社会の一員として自覚し、行動できるようにしていきたい。総合的な学習で学んだことを深められるように学校応援団の方に子供たちの話を聞いてほしい。(5年学年主任)
- ・学校のリーダーとして自覚をもち、主体的に行動できるようにしていきたい。総合的な学習では、子供たちが自発的に木に札をつける活動や地域の花壇の整備、ベンチの設置などを計画しているので、是非協力していただきたい。(6年学年主任)
- ・これからの時代、受け身な子は生き残れない。自分で選択できる子に教育することが大切だと感じた。タブレットよりプリントの宿題を出してもらおう方が安心する親もいる。(齋藤委員)

- ・子供の宿題の関わり方や考え方は、年代で違う。タブレットの宿題に対して、低学年の子の親として違和感はない。 (田原委員)
- ・今まで自分が歩んできた社会人としての考え方が、今の教育とは真逆で様々な発見があった。 (白井委員)
- ・子供たちは自分の考えを学校の授業の中で形にしていくのだと感じた。学校応援団で授業に入り込みする際には、教職員との打合せなど不可欠である。 (鈴木澄子委員)
- ・何でもバランスが大切である。お便りなどで学校の思いを引き続き広報して、移行すべきことは徐々に行う方が良い。 (熊谷委員)

### (3) 今後のPTA活動の方向性について

議長の指示により、PTA会長から別紙資料に基づき「令和7年度PTA活動方針について」説明があり、以下の発言があった。

- ・学校応援団を保護者にもっと知ってもらうにはどうしたらよいか。またPTA活動を学校と連携・協力した子供たちのためのものにしていきたいと考えている。 (田原委員)

### その他報告事項等

司会から、次回会議は令和7年11月28日(金)14時00分から会議室で開催する旨の報告があった。